

■ 障害者雇用を検討するすべての企業の皆様へ ■

上越市自立支援協議会就労支援部会では、障害のある方の多様な働き方の実現に向けて検討を重ねました。その取組の一環として、実際に企業等で就労している方への取材を通じて、障害者雇用を検討する企業の皆様へ「現場の声」をお伝えします。このレポートが障害者雇用の実現に向けた一歩を踏み出される一助になれば幸いです。

いらっしゃいませ。ようこそバックス館へ。

大切なお客さまのために、
自分にできる限りのことを真面目に。



地域のために
会社のために



Episode

01

小平 翔平 さん

株式会社 肉のたなべ
バックス館上越店

仕事の**内容**

空き瓶の精算受付
商品積み込み
商品管理

仕事の**時間**

週5日勤務
1日当たり6.5時間
週32.5時間

ご来店されるお客さまの 姿や音、気配を感じたら即座に

「いらっしゃいませ。」

店の前の商品搬入口の前で、来店されたお客さまに即座に声をかけ、常にお客さまの動きに目を配る小平さん。

小平さんの主な業務の一つは、空き瓶の精算です。来店されたお客様が車のハッチを開け、空き瓶を下ろす様子を見ると即座にお客様へ駆け寄り、空き瓶を受け取って瓶の種類ごとの計算を行います。



「最初は接客を避けていた部分があったけど、やってみるといいなあ。お客様から『ありがとう』といわれると、とてもうれしいし、接客してよかったと思います。やれないと思っていたことが、少しずつできるようになるとうれしい。」と小平さん。

小平さんは、お客様の顔や名前を覚え、来店時に要望をお聞きしながら、スムーズに買い物ができるように真摯に接客しています。

最初は覚えることに苦労したそうですが、必要なことはメモを取り、少しずつ常連さんの顔と名前を憶えて、仕事の幅を広げています。

様々なサポート制度を活用して 就労が実現

今回、小平さんは就労移行支援事業所『つくし工房』での就労移行プログラムを通じて、就労するための準備を整え、得意不得意のアセスメント（作業評価）を行いました。その後、障害者就業・生活支援センターさくらを通じて新潟県の実習支援制度を活用して『肉のたなべバックス館』での職場実習を行いました。

ご本人の頑張りとお客さまの配慮もあり、順調に仕事を覚え、その後、障がい者トライアル雇用を活用し、正式雇用になりました。働く方も受け入れる企業側も少しずつ慣れるための取組を実施したこと、それをサポートする支援チームによる定期的なサポートや各種制度の活用があり、現在に至っています。



～企業からの声～

【先輩スタッフより】

「今はもう、ほとんど常連さんの名前と顔が一致しています。小平さんが一番いい声であいさつしています。外の仕事も中の仕事も少しずつ覚えて、どんどん仕事の幅が広がり、どんどん進化して、なくてはならない存在です。」

【田辺専務より】

「トライアル雇用の当初は、お互いに緊張や戸惑いもあったと思います。素直に真面目に仕事に取り組む姿勢は最初から垣間見ることができ、雇い側の安心感がありました。あとは本人の努力とやる気次第、そしてこちらの教育次第で成長が期待できると確信に変わりました。今では常駐スタッフとして欠かせない存在です。」

【障害者雇用についての相談窓口】

障害者就業・生活支援センターさくら
TEL 025-538-9087

【発行元】

上越市自立支援協議会 就労支援部会（事務局：上越市福祉課）
TEL 025-526-5111

■ 障害者雇用を検討するすべての企業の皆様へ ■

上越市自立支援協議会就労支援部会では、障害のある方の多様な働き方の実現に向けて検討を重ねました。その取組の一環として、実際に企業等で就労している方への取材を通じて、障害者雇用を検討する企業の皆様へ「現場の声」をお伝えします。このレポートが障害者雇用の実現に向けた一歩を踏み出される一助になれば幸いです。

地域のために
会社のために

Episode

02

佐藤 正 さん

株式会社スポット
ピアレマート新井店

仕事の**内容**

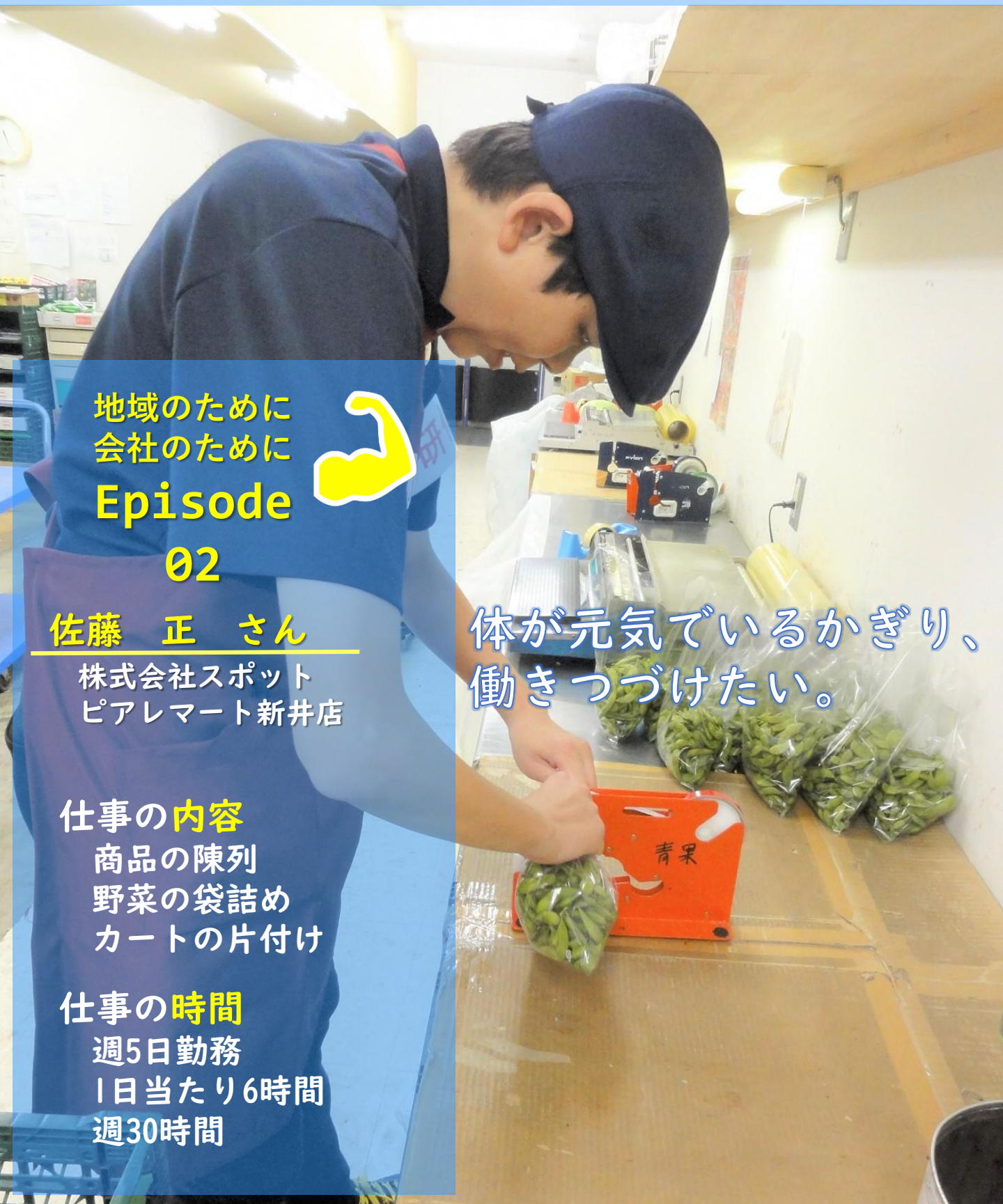
商品の陳列
野菜の袋詰め
カートの片付け

仕事の**時間**

週5日勤務
1日当たり6時間
週30時間



体が元気であるかぎり、
働きつづけたい。



『自分が足を引っ張らないように頑張りたい』という責任感で

真剣なまなざしで、決意を語ってくれた佐藤さん。

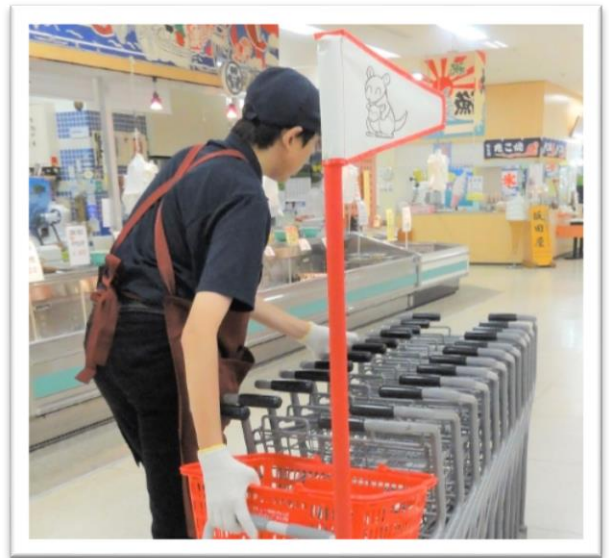
普段は店頭で並ぶ野菜の梱包、陳列やカートの子づけを任されています。働き始めてからもう6年が経ちます。「働き始めた頃は、色味の悪い野菜も一緒に袋詰めしてしまった」と恥ずかしそうに振り返ってくれた佐藤さん。今では、たくさんの野菜があっても、選別しながら、落ち着いてこなせるようになったそうです。時々、先輩の従業員さんからほめられることが、やる気の源。休憩中の会話も楽しみながら頑張っているそうです。



『はい』という返事が大事です！

佐藤さんは、日頃から返事をするを意識して仕事に取り組んでいます。

「ただ、何となくするのではなく、しっかり「はい」と言うこと。これだけでも印象は変わるから、ほんとに大事です」と、きりっとした表情で話してくれました。



～企業からの声～

【佐藤店長より】

「勤務も長く続いている分、仕事もいろいろなことを覚えてくれています。積極的にさまざまな業務を習得しようとする姿勢も素晴らしいと思います。職場の一戦力となり、貢献してくれています。」

コラム

< 障害者雇用の流れ >

障害者就業・生活支援センターさくらでは、障害者雇用を考えているけれど、「雇用経験が無い」「採用しても十分な支援が出来るか不安」「雇用している従業員が職場で不適応状態になった」「作業を教える人手が無い」といった相談への対応など、障害者雇用に関するお手伝いをしています。

ステップ1～相談受付～

障害のある人たちの雇用について相談をお受けします。
障害特性や雇用管理、訓練や実習などについてアドバイスをを行います。

ステップ2～雇用に向けたサポート～

障害者雇用制度の活用など必要な情報を提供します。
安定して働き続けるには、本人の適応への努力、障害特性に応じた職場環境と家庭での生活環境作りが必要です。本人・事業主・家族の皆さんに、適切なサポートやアドバイスをを行います。

ステップ3～雇用後のサポート～

障害に応じた仕事の進め方、仕事や対人関係などについてアドバイスをを行います。

地域のために
会社のために

Episode 03

【発行元】

上越市自立支援協議会
就労支援部会

(事務局:上越市福祉課)

025-526-5111



柳澤智康
さん

プロフィール

勤続：9年目

*特別支援学校高等部を
卒業後入社

勤務時間

AM8:30~PM5:00

(月曜日~金曜日:週5日)

主な業務内容

- ・金属部品の削り出し
- ・金属部品のバリ取り

理研製鋼株式会社



柿崎工場

〒949-3294

柿崎区柿崎 7402-2

TEL : 025-536-2231

■ 障害者雇用を検討するすべての企業の皆様へ ■

上越市自立支援協議会就労部会では、障害のある方の多様な働き方の実現に向けて検討を重ねました。その取組の一環として、実際に企業等で就労している方への取材を通じて、障害者雇用を検討する企業の皆様へ「現場の声」をお伝えします。このレポートが、障害者雇用の実現に向けた一歩を踏み出される一助となれば幸いです。

「コミュニケーションが苦手です。」



(金属加工の作業に集中する柳澤さん)



「自分は人とのコミュニケーションが苦手なんです。」と話す柳澤さん。働き始めた頃は、作業中の何気ない報告にもとまどうことがあったといいます。自分の気持ちが伝わらず、落ち込んだ時期もありました。会社では、定期的に柳澤さんとの面談を行い、本人の気持ちに寄り添いながら、業務内容の見直しなど必要な配慮を行ってきました。

入社して9年経った、現在の心境について訪ねると、「職場の方たちが、常に自分を受け入れ、関心をもって接してくれることがありがたいです。これからも、仕事に責任をもち、会社に貢献していきたいです。」と話をしてくれました。

☆ 池田総務部長へのインタビュー

Q：障害者雇用で働く方の印象を教えてください。

A：皆さん、仕事に向かう姿勢が一途で、正確に業務をこなしています。障がいを意識しすぎず、他の従業員と分け隔てなく接することが大切だと思います。

Q：障害者雇用を進めるにあたってどのようなことに配慮していますか。

A：それぞれ得意、不得意があるので、適材適所で、その方に合った仕事内容を考えています。柳澤さんについても、当初梱包の業務をお願いしていましたが、本人の適性を考え、現在の業務へと変更しました。また、就業時間も、無理せず、働き続けられる時間を個々に設定しています。

Q：障害者雇用を進めて、変わったことはありますか。

A：職場に障がいのある方がいることで、社員同士、互いに気配りができるようになりました。職場の雰囲気改善と連帯感の醸成につながっていると思います。

Q：「就業・生活支援センターさくら」とはどのように連携していますか。

A：定期的に訪問していただき、具体的な課題についてアドバイスももらっています。また、社外のいろんな方に関わりをもってもらえることは、働く本人にとっても励みになっていると思います。



☆取材を終えて

「ちょっと言い過ぎかもしれませんが・・・**自分がダメにならないためにも働き続けたいんです。**」と語る柳澤さんに、「いやいや、言い過ぎじゃないよ。それだけの働きを十分してくれているからね。」と伝える池田部長。お二人の会話を伺って、障害者雇用で大切な何かを教えていただいた気がします。

【障害者雇用についての相談窓口】

障害者就業・生活支援センターさくら

上越市寺町2丁目20-1 上越市福祉交流プラザ内

TEL 025-538-9087